よくわかる公共事業

令和5年度

県道植栗伊勢線 現道拡幅事業

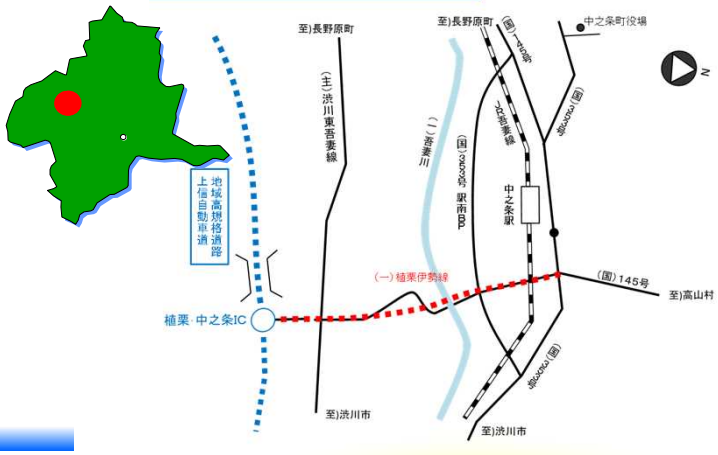
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

■所在地：東吾妻町植栗　～　中之条町伊勢町
■路線名：一般県道　植栗伊勢線
■事業内容：現道拡幅　延長 1.7km　幅 13.0m
■全体事業費：約45億円
■事業期間：平成25年度～令和8年度（14年間）
■緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
■現在の交通量（H27）：5,434台/日（自動車）
：　13人/12時間（歩行者）
：　27台/12時間（自転車）
■計画交通量（R12）：8,300台/日（自動車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

道路を拡幅し、カーブをゆるくします

地元の声

・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
・道幅が狭く、急勾配・急カーブで特に冬期は凍結しやすく危険。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
車両同士のすれ違い	困難（幅員4.5m）	すれ違いが容易に（幅員6.5m）
急カーブ数	２箇所	０箇所

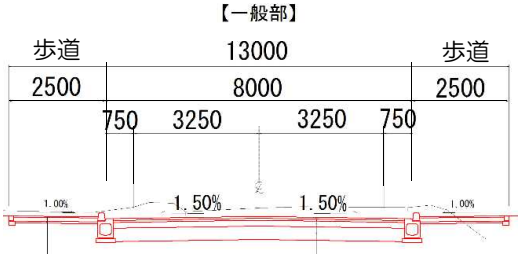
実施前

◆防災拠点である中之条町役場・高山村役場と上信自動車道路を結ぶ緊急輸送道路ですが、道路幅が狭く車両のすれ違いが困難な上に、急勾配・急カーブ区間があり、災害時の安全な通行に支障があります。

事業前の状況

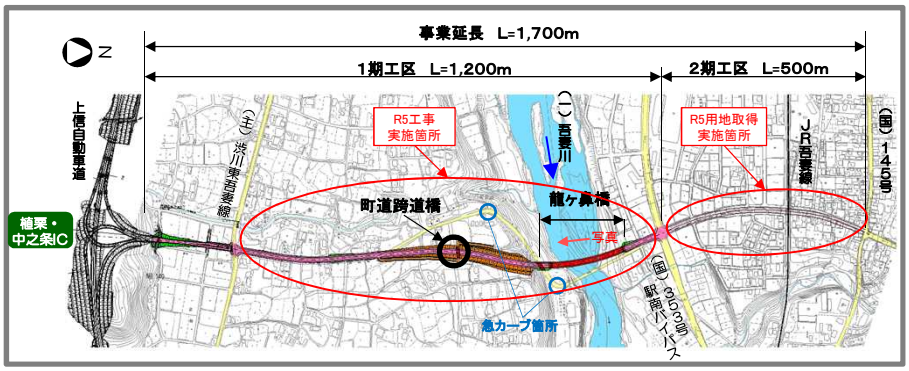
実施後

◆車道の拡幅、急勾配・急カーブ区間の解消により、災害時の安全な通行が確保され、中之条・高山方面～上信自動車道間のアクセス性が向上します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況（R5年３月現在）



今、何をしているか

令和５年度は龍ヶ鼻橋の橋梁架設工事と町道の跨道橋工事のほか、１期工区の道路改良と2期工区の用地取得を進めます。

龍ヶ鼻橋の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――――●・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・● 事業完了